

真偽問題 正しいものは「1」、正しくないものは「2」にマークしなさい。

- 問(1) 音名の呼び方で、「F」と「へ」は同じ音である。
- 問(2) 唸りは、音の回折という性質に起因する。
- 問(3) コンチェルトの日本語の名称は、協奏曲である。
- 問(4) 音楽の3要素とは、リズム・メロディー・ハーモニーである。
- 問(5) 「エリーゼのために」は、ベートーヴェン作曲のピアノソナタに含まれる楽章である。
- 問(6) アップライトピアノの総重量は、およそ300kgである。
- 問(7) 鍵盤材には、スプルース、トウヒという樹種が用いられる。
- 問(8) テーラーの公式では、弦の長さは振動数に反比例する。
- 問(9) ピン板によく用いられる樹種に、カエデがある。
- 問(10) アグラフは、弦の間隔と高さが揃いやすいという利点がある。
- 問(11) 完全4度の音程比は、2：3である。
- 問(12) 49A付近では、1Hzが約2セントに相当する。
- 問(13) 調律カーブは、弦振動の倍音のずれが原因である。
- 問(14) 音叉は、温度が下がると、ピッチが低くなる。
- 問(15) 平均律では、半音高い音の振動数は5%多くなる。
- 問(16) アップライトピアノのバックチェックワイヤー調整は、ワイヤーの上部・下部の2か所を曲げて調整する。
- 問(17) アップライトピアノの「ダンパー総上げ」と「スプーン掛け(ダンパー始動点の調整)」の工程順は、「スプーン掛け」を先に調整する必要がある。
- 問(18) アップライトピアノのキャプスタンボタンを奥方向に調整すると、タッチが重くなる。
- 問(19) 鍵盤スティックの際は、最初にバランスホールを調整するとよい。
- 問(20) グランドピアノのダンパーストップレールの隙間調整は、鍵盤を押えた状態で、2mmが調整寸法である。
- 問(21) 黒鍵交換で黒鍵を除去するには、カッターを用いて剥がす。
- 問(22) ハンマーシャンクが折れた時の修理では、ハンマーヘッドは、元のものを使用する。
- 問(23) アップライトピアノのペダルを交換するには、底板を外す必要がある。
- 問(24) グランドピアノのハンマーシャンクローラーの軋み雑音対処は、ローラースキンに黒鉛を塗布するとよい。
- 問(25) 自動演奏ピアノでは、鍵盤・ペダルを動かすのに、ソレノイド(電磁石)の駆動装置が使われている。

多肢択一（3択）問題

各問から、適切なものを1つ選びなさい。2つ以上選ぶと誤答になります。

問(26) ト長調の説明として、正しいものを1つ選べ。

1. 調号は、 \flat が1つである。
2. 平行調は、ト短調である。
3. 属音の音名は、「ニ」である。

問(27) 音波の説明として、正しいものを1つ選べ。

1. 音波の振幅は、音の高低に影響する。
2. 音波は縦波として空気中を伝わる。
3. 音波の波長が長くなると、空気中を伝わる速度が速くなる。

問(28) 倍音の説明として、正しいものを1つ選べ。

1. 正弦波には、基音のみが存在し、その他の倍音は含まれていない。
2. 3倍音は、基音に対し長3度の関係となる。
3. 8倍音は、基音に対し2オクターブの関係となる。

問(29) ピアノの発達史で鉄骨フレームの向上に関する年を1つ選べ。

1. 1783年
2. 1840年
3. 1859年

問(30) ピアノの手入れ・使用環境について、一番適切なものを選べ。

1. 常温では、湿度が30%前後が最適である。
2. 床暖房がピアノにとって、最適な暖房である。
3. アルコールを鍵盤の消毒に使用すると、アクリル樹脂製の白鍵は割れる。

問(31) ピアノの弦について、正しいものを1つ選べ。

1. ミュージックワイヤーの太さは番手に表示され、17番手の直径は、0.975mmである。
2. ピアノ1台では、約300本の弦が張られている。
3. ミュージックワイヤーの素材は、鋼鉄から炭素を取り除くことで、抗張力を高める。

問(32) 弦長と打弦点について、正しいものを1つ選べ。

1. 打弦比は、低音部と高音部では異なる。
2. 打弦点から駒までを有効弦長という。
3. 最高音の有効弦長は、およそ10cmである。

問(33) 響板について、正しいものを1つ選べ。

1. 響板材は、柾目になるように木取りされる。
2. 響板は、表面が平らになるように貼り込まれる。
3. 響板には、比重の大きい樹種が用いられる。

問(34) 次の記述から、正しいものを1つ選べ。

1. フレームの素材は、主に炭素鋼である。
2. フレームの製造方法に、バキューム・プロセス（Vプロセス）という鑄造方法がある。
3. 弦の張力はほとんどをフレームで支えている。

問(35) セント法について、正しいものを1つ選べ。

1. メルセンヌにより考案された。
2. 純正4度は、500セントである。
3. セント法による音程の計算は、足し算と引き算でできる利点がある。

問(36) 平均律割り振りについて、正しいものを1つ選べ。（基音は37A。音域は、33F～45Fとする。）

1. 37A-41C#の唸りが基準より少ない場合、41C#は低めにずれている。
2. 37A-42Dの唸りが基準より少ない場合、42Dは高めにずれている。
3. 37A-44Eの唸りが純正の場合、44Eは低めにずれている。

- 問(37) 音律に関する記述として、正しいものを1つ選べ。
1. 純正調長音階では、すべての協和音程が純正となる。
 2. 純正調長音階の主和音の長3度は、316セントである。
 3. ピタゴラスコンマとは、純正5度を12回繰り返すことによって生じ、24セントである。
- 問(38) 低音のオクターブの検査音程に用いる短3度：長6度について、正しいものを1つ選べ。
1. 短3度：長6度の唸りの回数が1：1となる場合、オクターブは正確である。
 2. 短3度：長6度の唸りの回数が1：2となる場合、オクターブは正確である。
 3. 短3度の唸りの回数が長6度の唸りの回数より多い場合、オクターブは広い。
- 問(39) 共通倍音に関する記述として、正しいものを1つ選べ。
1. 37A-44Eの共通倍音は、49A付近である。
 2. 37A-44Eの共通倍音は、56E付近である。
 3. 37A-44Eの共通倍音は、61A付近である。
- 問(40) アクションの整調工程として、関連が一番深いものを選べ。
1. 鍵盤の深さ（あがき）とベッディングスクリュー（スベリ金具）調整
 2. ハンマー接近（レットオフ）とレペティションスプリング調整
 3. ソフトペダル調整と打弦距離
- 問(41) 1回の打鍵で、ハンマーが2度打ちする場合、その原因と考えられるものを1つ選べ。
1. 鍵盤の深さ（あがき）が、深すぎる。
 2. アップライトピアノのバットスプリングの働きが強すぎる。
 3. カラ直し（ロストモーション）の調整で、過度のカラ状態。
- 問(42) ペダルに関する記述として、一番適切なものを選べ。
1. ダンパーペダルは、ペダルのストロークを1/3踏み込んだ位置で、ダンパーが作動するように調整する。
 2. グランドピアノの左のペダルを踏むと、打弦距離が短縮される。
 3. ソステヌートペダルを踏み込んでから、打鍵された音は延音される。
- 問(43) タッチについて、正しいものを1つ選べ。
1. ダンパーによる止音は、鍵盤の深さを約1/3戻した位置で止音する。
 2. 鍵盤の深さは、すべて10mmに統一されている。
 3. グランドピアノの同音連打性能は、約14回/秒である。
- 問(44) ハンマー接近（レットオフ）の調整の説明として、一番適切なものを選べ。
1. ハンマー接近（レットオフ）が狭いほど、連打・発音ともに有利になる。
 2. グランドピアノのハンマー戻り（ドロップ）を変更しても、ハンマー接近（レットオフ）は変化しない。
 3. 低音から高音まで、均一の2mmが調整寸法である。
- 問(45) 断線修理（張弦）について、正しいものを1つ選べ。
1. 弦の引き上げは、打ち下ろしの後に行う。
 2. 弦を張った後に、チューニングピンを打ち込んではいない。
 3. 断線の主原因は、弦の金属疲労である。
- 問(46) 修理に関する記述として、正しいものを1つ選べ。
1. アップライトピアノのダンパーレバークロスの接着は、クロスの両端を接着する。
 2. アップライトピアノのバットフェルトの接着は、フェルトの全面を接着する。
 3. アップライトピアノのバックチェックフェルトの接着は、フェルトの両端を接着する。
- 問(47) センターピン交換の方法として、正しいものを1つ選べ。
1. センターピンのトルクは、センターピンの選択によって、最終的に適正化を図る。
 2. センターピン交換後、フレンジの走りを点検・修正する必要がある。
 3. センターピンのトルクは、フレンジが自重で下がる状態が適当である。

問(48) ネジが緩くなった時の対応として、適切なものを1つ選べ。

1. アルミ製のセンターレールの場合、ネジをオーバーサイズに交換する。
2. 木ネジの場合、ネジに接着剤を塗布してから締める。
3. 木ネジの場合、金槌で打ち込んでから締める。

問(49) 工具・部材についての記述として、正しいものを1つ選べ。

1. 音叉は一度調整したら、狂わないことが利点である。
2. プラスねじであっても、サイズが合えばマイナスドライバーの使用は可である。
3. センターピンと弦を切るカッターは、それぞれ刃の形状が異なる。

問(50) 消音型のアップライトピアノの点検・調整方法として、正しいものを1つ選べ。

1. 打弦距離は、生ピアノより狭くする。
2. 鍵盤の深さ（あがき）は、生ピアノより浅めに調整する。
3. ハンマー接近（レットオフ）は、消音演奏時のハンマーシャック停止位置を基準に調整する。